



政治資金告発問題について

山形県理容業環境衛生同業組合

理事長 富樫富太郎

御承知の10/23付日刊紙等で報道されました、全国理美容組合連合会吉江たつ江理事長と云う名称の団体は全美環連とは全く関係はなく、いわゆるアウトサイダーの任意団体で、まして全理連、理政連とは何ら関係はありません。全理美連はかつて管理理美容師制度に反対している団体で、同制度反対の裁判をおこしている当事者です。当初この裁判に名前を連ねていた団体の数は約二五〇〇名、一審判決後、現在は八五名に減り、今回の告発にタッチしている人は十四名で告発代理人は四名とされています。

この告発のニュース報道で現在私共政治連盟が行っている

- (一) 当初の方針通り政治活動を展開して行きます。
- (二) その理由は寄付金のお願いのチラシにある通り業界エゴに依る立場ではなく、利用者優先の業態を確立し現在理容業界が抱えている問題を解決し将来にわたり安心した業界にするには、どうしても強力な政治力が必要であると考えられるから皆様の合意を得て政治活動を行って行くわけです。
- (三) 今回の美容界の告発問題はそうした当理政中の行動

— 発行所 —
 山形県理容業
 環境衛生同業組合
 山形市相生町8/51
 郵便番号 990
 電話 22 0217番代
 振替貯金口座 山形1366
 発行者 富樫富太郎
 編集者 保坂菊治
 購読料1部10円 毎月1回発行

とは全く無関係ですし、美容業界内部の問題として受けとめて居ります。理容政治連盟中央会は昭和五十二年に発足して以来、業者の皆さまから資金カンパを受け政治活動を展開して参りましたが、その資金の使途は、主として理容業の安定を願うために必要な国会等への陳情、請願運動、又はそれらにともなう諸会議の間催等に充たされて居るものです。しかしながら政治活動を展開するに当って、議会制民主政治に貢献している政党又は議員に対して、その政治的、経済的立場を支援するため、その後援会等に対して応分の寄附をする場合もありますし、これとて政治資金規制法に基いて、その収支は毎年度決算ごとに自治省中央選挙管理

次は(昭和55年9月10日付)の官報に掲載された「全国理容政治連盟中央会」の収支報告書であります。

全国理容政治連盟中央会
報告年月日 55.3.28

1 収入総額	63,390,313	光熱水費	120,000
前年繰越額	51,934,404	備品・消耗品費	396,794
本年収入額	11,455,909	事務所費	109,090
2 支出総額	32,199,642	政治活動費	29,828,758
3 本年収入の内訳		組織活動費	10,117,197
個人の党費・会費		選挙関係費	12,151,047
(106,790人)	5,339,500	調査研究費	61,760
寄附	4,829,000	寄附・交付金	5,457,640
個人分	4,829,000	その他の経費	2,041,114
その他の収入	1,287,409	5 寄附の内訳	
1件10万円未満のもの	1,287,409	(個人分)	
4 支出の内訳		年間10万円以下	
経常経費	2,370,884	のもの	4,829,000
人件費	1,745,000		

委員会に届け出しており、その内容は官報に告知されている通りです。以上の様に合法的な寄附を行うことであっても、それ以外にいわゆる贈賄的資金の支出を行ったことは一度もありませんし、又その必要もないと、全理連最高責任者はキッパリ言及して居りますので御安心下さい。

以上のように合法的な寄附を行うことはあっても、それ以外に今回の寄附金も以上の様な考え方のもとに政治資金として有効に使われることになり、

ご承知の様に理容政治連盟中央会は、国民の衛生面の低下につながる理容業の許認可制度の廃止に反対して参ります。顧客志向の変化に対応するための理容師法の一部改正と云った切実な問題と取組んでおります。これは既定方針通り不退転の決意で政治的に解決して参ります。美容界が果して、どういう状態で政治活動をしているのか解りませんが、理政中はそういった告発騒ぎに動

揺ることなく今後も前進をつづけてゆく決意で全理事連理事者一同意を決して居りますので御安心の上このカンパに御協力方お願いいたします。尚別掲官報の写しを掲載いたしました。

山形県理容会館

十二月中に竣工予定!!

本組合永年の悲願でありました理容会館の建設も十二月半ばごろ竣工の予定であります。

思えば昭和三十九年三月、初代理事長青柳先生在職の当時肴町字久保田(現在清住町三丁目)に土地を入手以来紆余曲折、その間理事長も二代佐藤平造氏(故人)、三代嵐田鶴男氏、現富樫富太郎氏と代替りして来ました。

それが本年環衛会館建設の中止により、理容組合独自の会館を建設しようとの機運が急に盛り上がり、組合役員一致団結組合員の方々の了解を取り付け、建設資金のメドもついたので、それまで有料駐車場としておりました、清住町三丁目の地に建設する事に踏

み切り、九月八日の吉日を、して地鎮祭、九月二十四日には上棟式、十二月中旬竣工予定、十二月中に移転の運びとなりました。

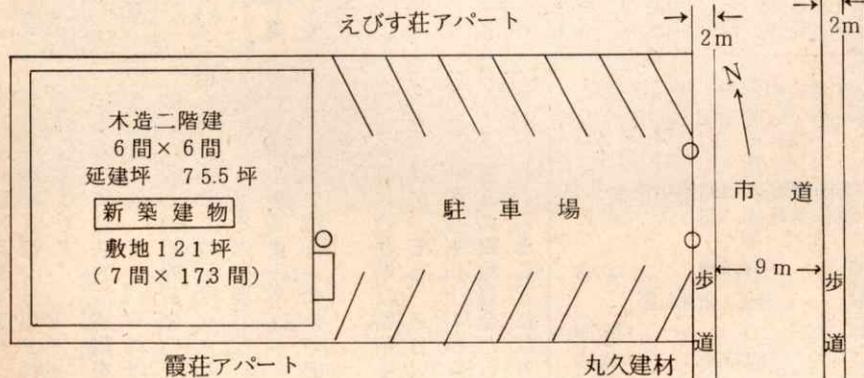
出来ました事も一重に組合員の皆様様の御協力の賜であり、改めて御礼申し上げます。この大事業を達成する事が、独自の会館をもち、ようやく

一人立ちとなる事が出来ました。今後共私達の理容会館として御利用下さいます様御願ひ申し上げます。尚、住所・電話番号・案内図等は左記の通りであります。

案 内 図



建物の名称 山形県理容会館
住所 〒九九〇 山形市清住町三二一六五
電話 (〇三三六) 四五三三五(代) 四五三三二四



「上山組合講習会、開催さる」

上山支部では、技術向上を目的に、この度組合講習会が開かれました。

九月二十九日、組合員の日程も含みまして、午後六時より九時三十分までの予定で、上市市下大湯ヘルスセンターに於いて、全理連中央講師、星野公夫先生を招き、「ニューフォーマルカット」と題し「原点を見直そう」と役員方々の骨折りで行なわれました。身近かな技術、どうしても無視されやすい技術にかかわらず多数出席され、特に若い方々が多く熱心に講師の技術を見守っていました。

ロング調のミニバサミにおけるジグザグカット、又、次にモデルにより、薄毛に対するカパーカットの方法など盛り沢山、組合員の方々も積極的になり、この熱気に講師も一生懸命、良い技術をと頼に汗をにじませながらの大奮闘ぶりでした。終りに質問の応答も厳しく又、にぎやかに、親

切ていねいな答も返って組合員も納得し、アッと云う間に三時間半の日程もすぎ、短かくも感じながら無事講習会を終了しました。
暗くなった夜道を、足どりも軽く各自四方八方へと帰路につきました。

上山支部 広報担当
岡崎 正之

川西支部だより

紅葉の季節十月十九日(第三日曜)、我が川西支部家族慰安旅行は、「最上川舟下り」として行われました。

朝から静かな小雨が降って、しかも一日降り続け、どんより雲がたれさがったパツパツしない秋空でした。が、バスの中はもう日本晴れ、ととてもにぎやか。

最上川ノ山形県の川、やっぱりすばらしい、スケールの大きいのにびっくりしました。道路から見る最上川とちがって、舟の上での川は何とも言えない雄大さがありました。紅葉の方は、ちょっと早いかなアという感じ。

元禄二年六月三日奥の細道で俳聖芭蕉も最上川を舟で下ったとの事。その頃は、ジェット船なんかもなく、どんな舟で下ったんだらうと思いつながら舟下りの気分にはひたつてまいりました。
残念なのは、天気がよかつたら、すばらしい景色がながめられたのにと、会員のうらめしい声。

お昼は羽根沢温泉にて、のんびりお湯の旅。この温泉はぬるぬるした湯で、女性にはより美しく、男性には二日酔いのお薬に効くそうで、大変人気がありました。寝も進んで、カラオケ大会、くじびき大会とおのおの楽しくすごす事が出来ました。

帰りは、庭月山・月蔵院といわゆる最上三十三観音を廻って参拝。年配の会員の中には、いく度かお参りに来た人もあれば、若い方は始めてという会員が大部分。手を合せた後の気持は、心が洗い清められた気分で一っぱいでした。

新庄節

舟にゆられて

庭月詣り

よろずの願いを
たのみおく
ちょっと覚えて来た句です。ほんとに今日は、仕事も忘れて会員と共に楽しくすごす事が出来ました。
来年も今年以上すばらしい慰安旅行であります様にと家路についた。

川西広報部

関口 リエ

楯岡支部婦人部

発会式に思う...

去る十月六日村山市民会館で待ち望んでいた楯岡支部婦人部が発会しました。

発会するにあたり、一かたならぬ御尽力をいただいた山口支部長さん初め、関係者の皆様に深く感謝いたします。私も副部長として事務を担当する事になり、戸惑い困惑している状態です。でも皆様の御協力を得まして私なりに何とか頑張ってみようと思っております。

会場一ばいさすがファッション界をリードする婦人美容師の皆さん、色とりどりの花

を眺めているような華やかさでした。

花に例えれば大輪の花あり、又カレンな花あり、色とりどりで。個性豊かな皆様と接し、これ程多勢の人がいるかと力強く、又自信も湧いてきます。人間誰でも一人では生きられません。同じ職業を通して、こんなに多勢の仲間がいると思うと、それだけでも婦人部が出来た事の意義があります。今迄何も知らないで通り過ぎた者同志が、オハヨウ、コンニチワの挨拶を交わすようになり、自然と気持の触れ合いができ、大きな輪になって広がりが、一人一人の小さな前向きな姿勢が大きな力となるはずですよ。

私達婦人部が、私達でなければ出来ない小さな事を、一歩ずつ協力し合って進んで行くならば、必ずや支部の発展につながる事と信じて、努力していくつもりです。

婦人部副部長

細谷 美恵子



鶴岡支部 青年部 第三回事業

昭和55年春に発足をみた当会では、ダンス教室、バドミントン教室に続いて、10月13日快晴の秋たけなわ、第三回事業として「ニューヘア・ビジネスの80年代戦略」、「確実経営セミナー&ファッション・ヘア技術のダブル企画」と題して、理容店経営のあり方を税理士遠藤先生より、又本年度県理容競技大会第三部優勝者上林浩先生にサロンパーマの総てを学びました。
当日は30名の参加者で午前九時三十分より遠藤先生、菅原先生のお話で、「これから理容店はどうかあるべきか」その経営の実態。心理学。お客様管理」アイデア作戦」サービスの中味と内容」など、又私達が一番関心のある白色と青色(みなし法人)の申告の違いと巾広く、たくみな分り易い図解を使つての話術での講義内容に、皆さんの意見が飛び交う中、両講師多忙のため、時間を制限してあったのにも不抱ず、30分も予定時

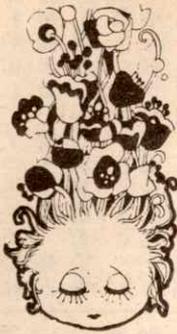
間をオーバーする熱の入れようでした。

そして第二部の実践的ファッションヘア技術は、上林先生の「バリエーション」を主軸にして、問題点の個々な解説には、若アユの様な新鮮なる上林先生とベテラン会長の佐藤喜一先生と二人で細部まで徹底的に基本の大切さを教えて戴きました。

明日からの営業にすぐ使える技術、自分の疑問点がすぐわかる解答で、又先生の技術の素晴らしさと厳しさの中に楽しい話を折り混ぜ乍らの講習会で「良かったノオー」もって聞きたかった。是非もう一度エエノオで、午後一時三十分を終了しました事を理容山形の紙上をお借りしまして、会員の皆々様に報告申し上げます。

青年部 広報員

佐藤 一幸



村山 ジャイアンツ 納会

結成初年度の納会を閉幕戦の興奮もそのままに湯の街天童ホテルつるやにて、支部長・部長を招き開催、マネージャーの司会により監督の今年度の反省等を含めた挨拶、会計報告支部長挨拶、部長の乾杯で閉宴。今年度特筆すべきことは楽しさの中に各試合が進められたこと。結成一年目、全員出場と一勝を目標に、勝率よりはチームの和を大切にすることに重点をおくことだったのですが、幸いにも二勝することが出来たこと。得点圏内に走者をおきながら、此一発と云う時に打てなかったこと等、来年度は野球を良く理解し、基本の習得に力を入れることに各自が努力する様に誓い合う。

九月八日 酒田チームとの対戦が台風の影響でグラウンドコンディションが悪く中止、遠来の酒田チームには申し訳なく交歓会に切り換え、会場を東根温泉常盤屋に移し、両監督の挨拶、酒田後藤理事の挨拶、

両チームのユーモアに満ちた自己紹介、酔がまわるにつれカラオケ大会にも熱が入り、三振あり、オーバーラン、ヒット、大ホームランあり、和気合々として、同業者の仲間意識が初顔合わせとも思えない。雨で試合は流れても得がたい心の交流が出来た収穫は大きかったと思います。酒田チームの皆さん、本当に御苦労様でした。



九月二十九日 新庄チームとの第二回目の親善試合、時間には遅れ申し訳ございませんでしたが、森支部長はじめ全員が笑顔で迎えて下さり、試合終了後、会場を商工会館に移し、婦人部の方々の心のこもった芋煮の接待は本当に頭が下がり、カラオケ大会も大変盛会になり、又沢山の賞品まで戴き、帰りには全員で玄関に列をつくり、車が見えなくなるまで見送ってください。御礼の申し上げようもございませんでした。

酒田-村山 交歓会

各試合ごとに心温まる想い出は沢山ございます。ここに「理容山形」紙上をお借り致します。各チームの方々に厚く御礼申し上げます。楯岡支部 鈴木直信

藤島婦人部 結成

冷雨降りしきる十月二十七日、藤島新町公民館に於いて婦人部の発会式が行われました。

齊藤金美組織部長より発起人会及びこれまでの経過を報告、また藤島支部九十八名の組合員中八十三名が加入し、本日五十二名の方々が参加されましたとの説明が始まり、婦人部長に佐藤政井さん、副部長役員の方々がそれぞれ選任され、議長には五十嵐幸子さんを選出して議事に入り、規約並びに事業計画の中では担当者ばかりでは御苦労を掛け過ぎるので各地区を廻りながら年度事業をすすめる、親睦を高めようとの話しが出て、議事承認をえて閉会、終了後には寒い日にふさわしい「いも煮会」の懇親会にうつり、日ごろ組合の会合においてになれない奥様方の自己紹介となごやかな席は婦人部ならではの場もあり、明るい婦人部作りの融和を見ながら会を終りました。

広報係 小林信一